

あいち農産物生産流通レポート

平成26年7月号

| | | |
|---|---|----|
| 情報サロン | | |
| ・夏向けスプレーギク「スプレー愛知夏1号」を開発 (農業総合試験場) | | 1 |
| 東日本情報 | | |
| ・加工・業務用野菜流通の動向 (東京事務所) | | 2 |
| 西日本情報 | | |
| ・タイ・バンコクでマーケティング調査を実施しました (食育推進課) | | 5 |
| フラワーページ | | |
| ・「花きの振興に関する法律」について (農林水産省生産局) | | 9 |
| 青果 | | |
| ・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場) | 1 | 1 |
| ・名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し | 1 | 2 |
| 花き | | |
| ・切花・鉢花の7月の見通し(県内市場) | 2 | 4 |
| 輸出入 | | |
| ・主要農林水産物の輸出入実績(2014年4月) | 2 | 8 |
| 関連指数 | | 29 |

今月「地域トピックス」はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

夏向けスプレーギク「スプレー愛知夏1号」を開発

農業総合試験場

1 はじめに

スプレーギクは全国で2億5千万本出荷される重要な花き品目で、本県はその3分の1を占める全国一の産地です(2013年産、農林水産統計)。県内では、白、黄、ピンク色など様々な花色の品種が主に施設内で周年生産されています。7~9月の高温期に栽培される夏向け品種は、暑さの影響を受けにくく、開花遅れのない特性を持つことが重要ですが、こうした「耐暑性」の強い既存の黄色品種には、花卉が横に倒れる、芯の黄化が早いといった短所があり、生産者から耐暑性と花の美しさを兼ね備えた黄色品種の育成が求められています。

愛知県農業総合試験場は、全国農業協同組合連合会との共同研究で夏向け新品種の開発に取り組み、2007年から6年間をかけて耐暑性と花の美しさを兼ね備えた黄色品種「スプレー愛知夏1号」を開発したので紹介します。

2 開発の経緯

2007年に耐暑性の強い系統と花の美しい系統との交配を行い、400粒の種子を得ました。08年に生育した352系統の中から20系統を一次選抜、09年に4系統を二次選抜しました。10、11年にこの4系統について愛知県の生産者の圃場で小規模な試作をし、12年の大規模試作を経て、耐暑性と花の美しさに特に優れた1系統(07-SZ-16-18)を選抜しました。この系統について、全国の主要市場に切り花を提供して評価を依頼した結果、既存の耐暑性黄色品種よりも花が美しいと好評を得ました。この系統を「スプレー愛知夏1号」として13年8月に品種登録出願を行い、14年1月に出願公表(28430号)されました。

3 品種の特徴

「スプレー愛知夏1号」は、鮮やかな黄色の花弁と緑色の芯のコントラストが美しく、花弁は斜め上を向き、開花が進んでも横に倒れないことから、美しい形の花を長く楽しむことができます。切り花1本に10輪以上の花が咲き、茎や花首の伸びが良いので、すっきりとした形をしています。花持ちは、既存品種と同程度で2週間程度観賞できます。

7~9月の高温期でも電照打切りから開花までの日数は46~49日と短く、安定して開花し、出荷することが可能です。

4 流通について

今年の夏から「あいむリゾート」の流通名で出荷が始まります。2016年には年間50万本の出荷を目標としています。



スプレー愛知夏1号

加工・業務用野菜流通の動向

近年、単身世帯の増加や高齢化、共稼ぎ等の生活スタイルの多様化に伴って、食の外部化が進展し、加工・業務用野菜の需要が高まっています。こうした需要に対応するためのセミナーが6月20日(金)に農林水産省主催で開催されましたのでその結果を報告します。なお、本セミナーは一般傍聴者定員150名のところ400名近く出席していました。

1 加工・業務用野菜をめぐる情勢と展望

東京聖栄大学の藤島教授と農林水産政策研究所の小林上席主任研究官が講演されました。テーマは「国産野菜の特徴と加工・業務需要への対応課題」と「加工・業務用野菜をめぐる情勢と展望」でした。

野菜の輸入が増えた背景には、1985年からの10年間で急激な円高が起り円の価値が3倍(1米ドル240円 80円)になったことと国内野菜生産量が1988年から低下したことがあると結論づけられました。その後は異常気象等で国内生産量が低下すると輸入量が増えていました。また冷凍野菜は1985年から顕著に増加していました。

食における生鮮野菜から加工・業務用野菜への移行は、国内の社会構造の変化と高齢化によって進んできました。2007年の国民栄養調査にある年齢別1人1日あたり摂取熱量をみると20代~60代までの摂取熱量は男女ともに大きな変化はありませんが70代以上では60代よりも男女ともに大きく減少していました。人口が変わらなくても70代以上が増加することで野菜の需要が減少することがわかりました。また50代以上で1人あたりの中食(お総菜等)や外食(レストラン等)の購入額が増えていました。

加工業務向け野菜については、国産生鮮品が560万tで輸入が生鮮品と加工品あわせて300万tくらいと推計されていました。国産の強みはカット野菜と浅漬けでした。また冷凍野菜の国産比率は全体の10%程度でした。

最近の消費者の食の志向は、健康、経済性、簡便化が上位を占めていました。健康は年代が上がるにつれ重視され、経済性と簡便化は若い年代ほど重視されていました。国産品へのこだわりは、全体としては強いが経済性を考えるとこだわらないという結果でした。また外食や中食が消費者から支持されて売れ行きが好調であることから考えると価値のある商品については多少高価でも購入する(プチ贅沢)傾向がありました。



セミナーの様子(農林水産省 佐藤一雄生産局長)

食の外部化は、2012年の（財）食の安全・安心財団の資料によれば、2012年には外食率は36%で1990年からそれほど変化が見られませんでした。中食率は9%で6%増加していました。つまり食の外部化の中心は外食だが、牽引しているのは中食であるということがわかりました。背景には、世帯構成の変化と生活スタイルの変化や多様化、利便性提供型の食料供給（24時間営業の中食外食企業や冷凍食品、カット野菜等）がありました。今後についても食の外部化は緩やかに進展していくものと思われました。

野菜の需要は、野菜の1人1日あたり摂取量では「野菜1日350g」が望ましいとされています。厚生労働省の国民健康・栄養調査結果の概要ではどの年代も未達で若い世代ほど野菜摂取量が少ない、20代で244g(2012年)が問題でした。野菜マーケットの維持拡大を図っていくためには1人あたりの野菜摂取量の拡大に向けた取組が不可欠になってきていました。つまり、野菜の加工業務用需要への対応強化は同時に消費拡大と連動している必要があることが示されました。

2 事業者の先進的な取組事例

(1) 産地と実需者を結ぶ立場から株式会社彩喜の木村幸雄氏が「加工・業務用契約栽培及び取引の変化」について講演されました。

木村氏は1999年から加工業務用野菜の産地開発と仕入れを始めました。当初は「加工業務用」という言葉に産地の生産者は引いていたようでしたが、10年間様々な産地リレーを考えて産地育成を行ってました。現在では機械化の進展により、産地規模の拡大や輸送方法の改善が行われていました。具体的には、北海道にあるJA鹿追町のキャベツ産地は、育苗センターを所有し、定植機や収穫機で作業を行い、トラックへの搬送は鉄コンテナを利用し、出荷はJRコンテナを利用していました。鉄コンテナはレンタルでした。

今考えていることは、モーダルシフト。野菜を輸送するトラックの人手不足対策として早急に取り組む必要があるとのことでした。

(2) 加工流通に関わる立場から東京デリカフーズ(株)の有井雅幸氏が「加工・業務用野菜の取組について」について講演されました。

東京デリカフーズ(株)は、「Farm to Wellness 農場から健康を考えましょう」に基づいてサプライチェーン、バリューチェーンをどう構築していくかがテーマになっていました。

野菜に対する消費者のニーズは、安全である、鮮度が高くて美味しい、健康、の3つであると考えていました。野菜の評価基準「デリカスコア」を作成し、安全性を産地ではGAPで、カット工場ではISO22000で担保していました。他にもビタミンCや抗酸化力など中身成分や鮮度、品温等流通についても評価されていました。これを基に産地の栽培技術やカット野菜の包装保管技術などの向上につなげていました。

現在は、機能性成分を高含有する農産物等の開発に携わったり、「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」に応募し、トマトの中身成分を揃えるための研究に参加していました。また次世代植物工場の専門委員会の構成員にもなっていました。

(3) 食品製造事業者の立場からキューピー(株)の藤本幸佳氏が「加工業務用野菜への取組に求められる方向性」について講演されました。

キューピー(株)は、20数年前から野菜に関わる事業を行い、カット野菜と総菜と弁当を取り扱っていました。

タマネギに関しては、加工用タマネギは需要が増えており、中国からの輸入依存度が高い状況にありました。国内産の生産量を増やすために、品種開発・産地・一次加工で加工特性のあるタマネギ品種「カロエワン(北交1号)」を育成中でした。この品種は収量が従来の5割増し、縦長のため加工作業時に持ちやすく作業効率が向上、天地切断部位径が小さく歩留まりが10%程度向上、わかりやすい形状が市場流出防止、が期待されており、またタマネギの産地化を図る場合には、収穫後の強制乾燥施設が必須要件になるとのことでした。

今後については、手に取りたくなるような楽しい商品作りを野菜の冷蔵施設、一次加工施設、食品工場、抽出工場等消費地から100km圏内に造成してコンソーシアムを構築、コストが安いからでなく商品評価で展開していきたいとのことでした。

(4) 消費者に近い小売事業者の立場からイオンリテール(株)の室井英男氏が「イオンリテールにおける取組事例の紹介」について講演されました。

食事の手間に関しては、生活スタイルの変化に対応するため、「下ごしらえ」と「調理する」時間を省く、つまり「そのまま食べる」と「下準備ができてる」商品に心がけていました。青果売り場では「電子レンジでブロッコリーがゆであがる」などの手間を少しかける商品を30種類程度提供しているとのことでした。

カット野菜は、2010年から伸び始めました。サラダではマヨネーズを使うよりも生鮮野菜のほうが伸びていました。

加工野菜には、「素材そのものの美味しさを一定期間どう保持するか、お客様の食生活変化に対応できる便利な商品開発、リーズナブルな価格提供(+感動、栄養成分、倫理観)、お客様の知りたい情報を提供、」などの課題があり、プライベートブランド化も含めて販売を考えているようでした。

野菜の消費量は、人口の年齢層の割合によって変動する、生活スタイルの変化で中食購入者が増えている現状があることがわかりました。事業者はそれら変化に対応して取り組まれており、国の施策を上手に活用しているように感じました。厚生労働省が発表した平成24年国民健康・栄養調査結果の概要によれば、野菜摂取量の平均値で愛知県は男女とも全国第47位でした。野菜の消費拡大は今後も大きな課題になると思いました。

タイ・バンコクでマーケティング調査を実施しました

愛知県では、県産農林水産物等の海外における販路開拓を支援しています。今回は、県産農林水産物等の輸出先として有望と考えられるタイの首都バンコクにおいて、マーケティング調査を実施しましたので、その結果の概要を紹介します。なお、本年9月には、バンコクの百貨店において販売促進会の開催を予定しています。



バンコクのクロントゥーイ市場

1 タイの基本情報

タイは、国土面積が約 51.4 万km²（日本の約 1.4 倍）で、人口約 6,600 万人です。民族は、大多数がタイ族で、宗教は 95%が仏教となっています。

国民一人当たり GDP は 5,390 ドル（2012 年）で、日本の約 11.8%となり、アセアン域内ではシンガポール、ブルネイ、マレーシアに次いで第 4 位です。経済は堅調に推移しており、失業率が 1%を切る状況であることから、自動車産業をはじめ人手不足が深刻となっています。

タイの高所得層はバンコクに集中しており、月当たり所得 50,001 バーツ以上（1



バンコクの高級百貨店「エンポリアム」

バーツ = 約 3 円）は全国平均で 3.8%であるのに対し、バンコク都市圏では 12.8%となっています。

2 食習慣など

共働き世帯が多く、所得も高いことから、あまり家庭料理をせず、外食・中食の頻度が高くなっています。日本料理は、見た目のきれいさや、健康的というイメージから人気が高く、日本料理店も増加しており、現在、バンコクに 1,200 軒以上あると言われています。

3 日本産食品の流通経路

タイに輸出された日本産食品は、タイの輸入業者が受け取り、小売店や日本料理店等に販売されます。加工食品については、タイ食品医薬品局（FDA）の輸入許可が必要で、その申請はタイの輸入業者が行います。そのため、タイの輸入業者との提携が必要となってきます。

4 調査結果の概要

ジェットロ・バンコク事務所や日系食品輸入業者等から、日本産食品の取扱状況等について聞き取り調査を行いました。また、現地百貨店等において、店頭調査を行いました。それらの結果の概要は以下のとおりです。タイ・バンコクへの食品輸出の参考にしてください。

（1）ジェットロ・バンコク事務所

バンコクの日本料理店の状況

- ・バンコクの日本料理店は、高級路線と大衆路線に分かれてきている。高級路線の中から「最高級」路線の店が現れている。
- ・大衆路線の日本料理店では、日本産食材は高いため、ほとんど使われていない。
- ・タイでは珍しいもの（かまめし、ゆば）を提供する日本料理店に人気がある。

日本産食品の普及の可能性

- ・日本産の果物は、タイで売れている。気候や風土の違いにより、タイで生産できない果物は特によい。
- ・日本産の果物は見栄えが良いため、贈答用として富裕層等が購入しているようである。
- ・タイではイチゴが生産されているが、味は日本産の方がおいしいと思う。
- ・果物の場合、料理店等の購入量は少ないので、百貨店での販売の方が有望である。
- ・タイに日本の加工食品を輸出する場合、タイの業務筋への販売を狙う事例が多い。ただし価格競争が始まっており、高すぎると売れない。
- ・タイ国内で加工食品を生産する日系メーカーも増えており、輸入品と現地生産品との競合が発生している。



百貨店の果物陳列棚でリンゴを販売中

(2) 日系食品輸入業者

A社

- ・果物は、昔は「日本産」というだけで売っていたが、今は産地や価格で選ばれるようになった。
- ・鮮度が大切な農産物は航空便で運んでいる。航空便は、国内出荷+1日くらいで、タイで販売できる。
- ・料理店等の顧客の要望に添った商品のほか、売れそうと思われる商品を輸入し、販売している。

B社

- ・ある百貨店がサラダバーを始めたところ大ヒットし、ほかの店舗でもサラダバーが導入された。
- ・バンコクには中食文化があるため、弁当や総菜が食品売場で販売されている。これらを買って家に帰り、家庭で食べている。
- ・菓子については、大手日系メーカーによるタイでの現地生産品が安く売られている。一方、日本生産品も高い価格で販売されている。



百貨店の調味料コーナー

(3) 日本料理店

- ・食材は、地元産が手に入る場合は地元産を使っている。
- ・みりんや味噌などの調味料は、タイで製造されたものもあり、高い日本からの輸入品をわざわざ使う必要はないと考えている。タイのみりに砂糖を加えれば、味を調えることができる。
- ・魚介類や野菜などの食材については、こだわる必要があると考えている。
- ・日本産の野菜では、高糖度トマト、トウモロコシ、アスパラガス(甘みが強いもの)、ソラマメ、ダイコン(甘みが強いもの)、エディブルフラワー等が、タイで受け入れられると思う。
- ・タイ産に比べて味が濃かったり、甘かったりする日本産の野菜は、受け入れられると思う。



タイの日本料理店の冷やし中華

(4) 現地百貨店等

日本産食品を取り扱っている店舗を中心に、以下の店舗を調査した。

- ・ スクンビット地区（日本人が多く居住する地区）
 - エンポリウム（現地資本の高級百貨店）
 - フジスーパー（日本産食品の取り扱いが多いスーパーマーケット）
- ・ サイアム地区（バンコク随一のショッピングエリア）
 - サイアム・パラゴン（現地資本の高級百貨店）
 - セントラル・ワールド（現地資本の高級百貨店）
 - セントラル・チットロム（現地資本の高級百貨店）
 - 伊勢丹バンコク（バンコク唯一の日系百貨店）

日本産食品の販売 状況

- ・ 日本産食品については、果物の取り扱いが多かった。
- ・ 日本産の果物は、贈答用の箱に入
れて販売されている店舗もあ



った。サイアム・パラゴンの外観（左）とその食品売場（右）

- ・ 野菜はタイ産がほとんどで、日本産はあまり見られなかった。
- ・ 加工食品は、日本からの輸入品も見られたが、現地で生産された味噌、納豆、しょう油等も多く販売されていた。
- ・ 菓子は、日本からの輸入品と現地生産品とが販売されていた。
- ・ フジスーパーは日本産食品の取り扱いが多く、日本からの輸入品が数多く見られた。

(5) クロントゥーイ市場

- ・ バンコクの巨大な生鮮食料品市場。
- ・ 果物（バナナ、ミカン、リンゴ、パイナップル、メロン、ドリアン、ランブータン等）、野菜（キャベツ、パクチー、カボチャ、タロイモ、トマト等）、コメ、肉（鶏肉、豚肉）、鶏卵、魚介類等、数多くの食材が売られていた。
- ・ 葉菜類は、概ね 30 パーツ前後で販売されており、安くて新鮮そうだった。
- ・ 果物は、種類は多いが、大きさ・形はふぞろいのものが多かった。また日本のものに比べて小さいものがあった。

「花きの振興に関する法律」について

平成26年6月20日、第186回通常国会において、議員立法による「花きの振興に関する法律」が成立しました。この法律は、花き産業及び花きの文化の振興を図るため、国及び地方公共団体において花きの生産者の経営の安定、花きの加工及び流通の高度化、花きの輸出の促進、公共施設及びまちづくりにおける花きの活用等の措置を講じ、もって花き産業の健全な発展や心豊かな国民生活の実現に寄与することを目的とするものです。条文については、農林水産省のHPで公表予定ですので、そちらをご参照下さい。

1. 経緯

花き産業の振興を目的とする法律の制定は、昭和62年に自民党でフラワー産業議員連盟が創立された当時から、花き産業関係者から強い要望があり、平成24年5月に同議連が再決起されたことを機に、関係者の永年の悲願であった法律の制定に向けた動きが加速しました。平成25年9月に、自民党農林部会野菜・果樹・畑作物等対策小委員会の中に、葉梨康弘議員（畑作小委委員長）を座長とする「花き振興法案（仮称）検討作業チーム」が設置され、中谷元議員（農林水産戦略調査会長）、齋藤健議員（農林部会長）、河村建夫議員（フラワー議連会長）等がメンバーとなり、法案の検討が進められ（10月から座長は坂本哲志議員に交代）、与野党調整を経て、6月4日、（衆）農林水産委員長提案により、第186回通常国会に提出されました。

2. 法律のポイント

法律は二十一条で成り立ち、本法律でいう「花き」とは、「観賞の用に供される植物をいう。」（第2条）と規定され、切り花や鉢物のみならず、花木類、球根類、花壇用苗もの、芝類、地被植物類についても、法律の対象とされました。まず、農林水産大臣は花き産業及び花きの文化の振興に関する基本方針を策定し、それに即して、都道府県が振興計画を定めるよう努めなければならないと

されており、国は、振興計画に基づく施策の円滑な実施のため、援助するものとしています。

また、国及び地方公共団体は、花き産業に対する施策として、生産者の経営の安定や生産性・品質の向上、加工及び流通の高度化、輸出の促進、研究開発の推進等（第6条～第15条）を、花きの文化に対する施策として、公共施設における花きの活用の推進、「花育」の推進、花きの伝統の継承等（第16条）を講ずるとともに、関係行政機関で構成される花き活用推進会議を設置し、花きの振興に関し一体的かつ効果的な推進を図ることとしています。加えて、農林水産大臣の認定を受けた研究開発事業（花きの新品種の育成及び増殖の技術の高度化に関する研究開発を行う事業であって、我が国の花き産業の国際競争力の強化に資するもの）計画に従って、品種登録出願に関する出願料及び登録料を軽減又は免除することができるものとしています（第11条～第13条）。これにより、流行の移り変わりの激しい花きにおいて、国産シェアの奪還と輸出拡大に向け、オリジナル品種の開発加速化が期待されます。

3．今後の展開方向

農林水産省では、この法律の理念の具体化に向け、平成26年度より花き単独予算である「国産花きイノベーション推進事業」を措置しており、本年4月から43都道府県において関係者が一堂に会する地域協議会が設立され、国産花きの生産・供給体制の強化、輸出や需要拡大のための取組がスタートしています。「花き元年」とも呼べる今年、法律と予算が車の両輪となり、今後各地域において、花き産業及び花きの文化の振興に向けた取組が一層進められることが期待されます。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：アールスメロン）

| | 入 荷 量 (t) | | 卸 売 価 格 (円/kg) | | 前年の主な他産地 (上位3産地) |
|---|--------------|--------------|--|-------|----------------------------------|
| | | うち愛知産 | | うち愛知産 | |
| 25年実績 | 1,788 | 322 (18%) | 744 | 472 | 静岡 (38%) 熊本 (19%) 高知 (13%) |
| 26年見通し | 1,600 | - | 750 | - | |
| 入荷量及び卸売価格の概要と見通し | | | 卸売市場から産地への要望・提言等 | | |
| <p>愛知産の中心は、産地は東三河地域。天候は良好で、生育も順調な見込みで、大玉傾向となるであろう。 しかし、作付面積の減少で入荷量が減少することも予想され、やや単価高となる可能性もある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p> | | | <p>全国的に作付面積は減少傾向にある。品種は産地ごとに様々であり、大きな変化は見られない。嗜好の変化はなく、また消費者の低価格志向により、販売環境は厳しいままである。 生育は順調で、大きさ、味も文句ないので、試食宣伝などを通して、贈答用以外での一般消費にも期待したい。</p> | | |

東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

| | 入 荷 量 (t) | | 卸 売 価 格 (円/kg) | | 前年の主な他産地 (上位3産地) |
|---|--------------|--------------|--|-------|-----------------------------------|
| | | うち愛知産 | | うち愛知産 | |
| 25年実績 | 748 | 193 (26%) | 105 | 143 | 神奈川 (26%) 茨城 (20%) 静岡 (18%) |
| 26年見通し | 710 | - | 110 | - | |
| 概 要 と 見 通 し | | | 卸売市場から産地への要望・提言等 | | |
| <p>昨年は、主要産地が前年より増量だったため、入荷量は前年より大幅に上回り、価格はやや下回った。今年も本県をはじめ神奈川、茨城、静岡などからの入荷となり、沖縄の入荷は終盤を迎えている。 本県産の入荷開始は6月2日で、6月下旬から8月までが入荷のピークとなる。生育は各産地とも順調で、潤沢な入荷が期待できるが、神奈川では小型のとうがんが大幅に減少する見込みである。 全体の入荷量は前年よりやや下回り、価格は安値であった前年をやや上回る見込み。</p> | | | <p>愛知県産については品質に問題なく、これまで通り、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めて欲しい。</p> | | |

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月13日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績 と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--|------------------|--------|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 野菜計 | 21年 | 30,896 | 201 | 194 | 211 | 199 | 長野 28% |
| | 22年 | 30,577 | 229 | 221 | 236 | 232 | 北海道 11% |
| | 23年 | 29,793 | 219 | 230 | 222 | 210 | 愛知 10% |
| | 24年 | 30,327 | 204 | 208 | 213 | 198 | 兵庫 8% |
| | 25年 | 29,589 | 229 | 235 | 228 | 224 | |
| | 5ヵ年平均 | 30,236 | 216 | - | - | - | |
| | 26年見通し | 29,700 | 216 | - | - | - | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>主な産地は長野、北海道、愛知。産地によっては、梅雨の影響を受けることも予想されるが、いずれにしても今後の天候次第で生育等も変わると予想される。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| だいこん | 21年 | 1,982 | 83 | 86 | 83 | 81 | 青森 49% |
| | 22年 | 1,664 | 90 | 80 | 105 | 90 | 北海道 38% |
| | 23年 | 1,688 | 95 | 94 | 98 | 99 | 岐阜 12% |
| | 24年 | 1,820 | 76 | 81 | 80 | 75 | 長野 1% |
| | 25年 | 1,745 | 91 | 118 | 83 | 83 | |
| | 5ヵ年平均 | 1,780 | 87 | 92 | 89 | 85 | |
| | 26年見通し | 1,750 | 90 | 100 | 90 | 80 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>主要産地は青森、北海道。青森、北海道ともに、雨不足の影響があり、今後の入荷量に影響が出るおそれがある。 入荷量、価格ともに前年並みの見込み。</p> | | | | | | | |
| にんじん | 21年 | 1,721 | 148 | 135 | 149 | 159 | 青森 65% |
| | 22年 | 1,526 | 203 | 199 | 201 | 208 | 北海道 29% |
| | 23年 | 1,785 | 117 | 141 | 110 | 107 | 中国 2% |
| | 24年 | 1,603 | 163 | 241 | 166 | 120 | 岐阜 1% |
| | 25年 | 1,672 | 124 | 157 | 115 | 105 | |
| | 5ヵ年平均 | 1,662 | 150 | 173 | 147 | 138 | |
| | 26年見通し | 1,600 | 146 | 180 | 130 | 130 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>産地は青森が主体となる。雨不測の影響で生育は良くなく、上旬までは入荷量も減少するであろう。中旬以降は、北海道も入り持ち直す見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

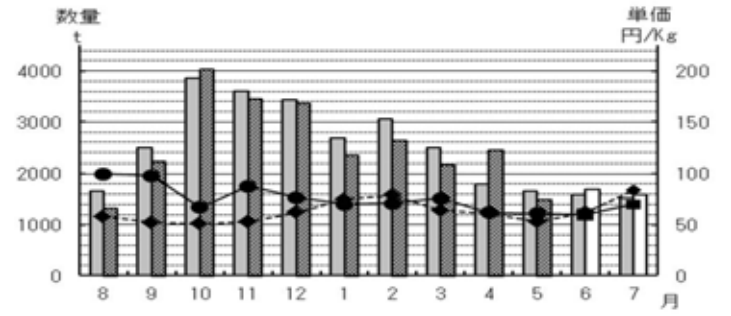
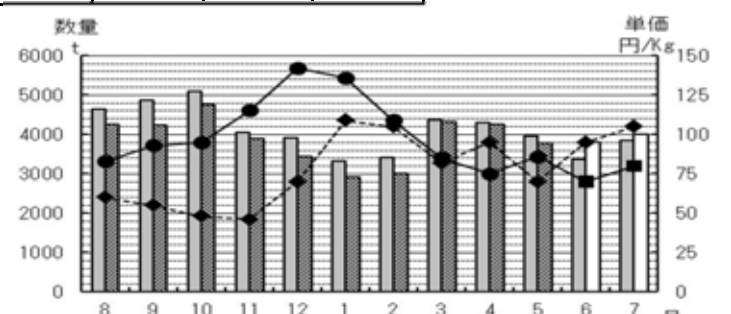
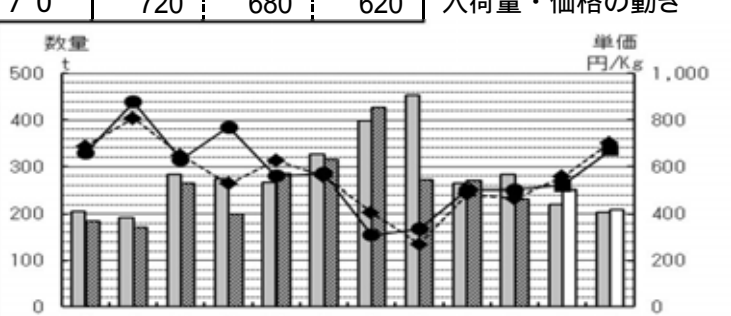
6月25日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--|--------------|---------|------|-----|-----|----------------------|--|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 野菜 | 21年 | 126,213 | 219 | 216 | 222 | 220 | 群馬 14% 長野 14% 茨城 12% 北海道 8% (愛知産比率 1%) |
| | 22年 | 122,704 | 237 | 226 | 245 | 242 | |
| | 23年 | 118,688 | 238 | 250 | 237 | 228 | |
| | 24年 | 123,363 | 217 | 224 | 215 | 212 | |
| | 25年 | 127,083 | 250 | 267 | 251 | 234 | |
| 計 | 5カ年平均 | 123,610 | 232 | - | - | - | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| 26年見通し | 128,000 | 240 | - | - | - | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 群馬、長野の高冷地と東北産地からの入荷が本格化する時期となる。各品目とも5月は干ばつの影響を受け生育遅れの傾向だったが、ここにきて回復してきている。入荷量は品目によって多少あるものの総体では前年並で、価格は高かった前年をやや下回る見込み。 | | | | | | | |
| だいこん | 21年 | 9,226 | 78 | 87 | 74 | 74 | 北海道 55% 青森 38% 岩手 3% 千葉 1% (愛知産比率 0%) |
| | 22年 | 8,799 | 90 | 81 | 103 | 86 | |
| | 23年 | 8,212 | 93 | 95 | 89 | 95 | |
| | 24年 | 8,703 | 70 | 76 | 68 | 68 | |
| | 25年 | 8,952 | 90 | 117 | 78 | 80 | |
| 計 | 5カ年平均 | 8,778 | 84 | 91 | 82 | 81 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| 26年見通し | 8,900 | 84 | 85 | 83 | 84 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 青森に加えて北海道が本格出荷する。北海道、青森とも生育初期は干ばつの影響で生育が遅れたが、その後の降雨により現在は回復傾向。青森は生育が順調なことから太物が中心となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回るが5カ年平均並の見込み。 | | | | | | | |
| にんじん | 21年 | 5,909 | 137 | 118 | 140 | 152 | 青森 43% 千葉 30% 北海道 23% 中国 2% (愛知産比率 -%) |
| | 22年 | 5,514 | 181 | 170 | 184 | 189 | |
| | 23年 | 6,145 | 111 | 118 | 104 | 112 | |
| | 24年 | 6,291 | 149 | 185 | 152 | 115 | |
| | 25年 | 6,753 | 124 | 137 | 117 | 115 | |
| 計 | 5カ年平均 | 6,122 | 140 | 146 | 139 | 137 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| 26年見通し | 6,450 | 125 | 123 | 127 | 125 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 千葉に加えて、青森、北海道からの入荷が増える。青森、北海道とも生育初期は干ばつの影響で生育が遅れたが、その後の降雨により回復傾向。千葉は生育順調で品質も良好。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。 | | | | | | | |

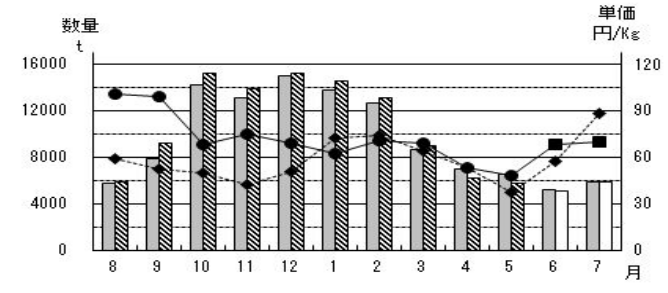
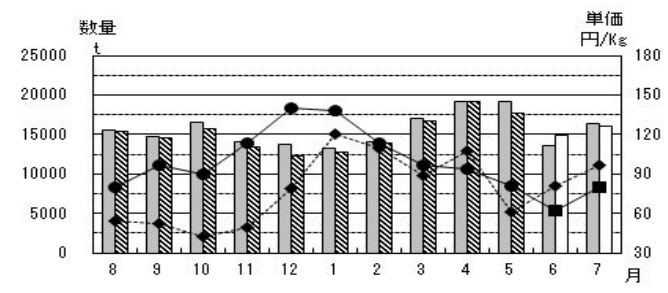
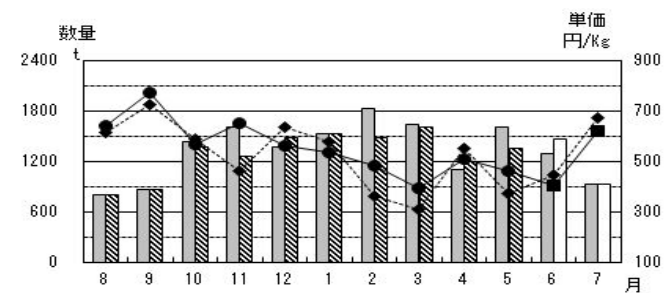
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績 と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地 (%) | |
|--|------------------|-------|--|-----|-----|------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | (愛知産比率) | |
| ほう き さい | 21年 | 1,810 | 68 | 59 | 72 | 74 | 長野 91% |
| | 22年 | 1,956 | 63 | 51 | 72 | 70 | 群馬 9% |
| | 23年 | 1,919 | 58 | 67 | 57 | 60 | 愛知 0% |
| | 24年 | 1,865 | 50 | 64 | 51 | 51 | 岐阜 0% |
| | 25年 | 1,529 | 84 | 79 | 83 | 107 | |
| | 5ヵ年平均 | 1,816 | 64 | 63 | 66 | 71 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 1,600 | 70 | 70 | 70 | 70 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| 産地の中心は長野。適正な生産はされるものの、1/4カットが主流となり、流通量は減少する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。 | | | | | | | |
| キャ ベ ツ | 21年 | 3,853 | 69 | 71 | 68 | 67 | 群馬 45% |
| | 22年 | 3,792 | 89 | 77 | 100 | 91 | 長野 33% |
| | 23年 | 4,096 | 95 | 117 | 101 | 75 | 茨城 14% |
| | 24年 | 4,259 | 57 | 61 | 57 | 59 | |
| | 25年 | 3,839 | 105 | 111 | 98 | 108 | |
| | 5ヵ年平均 | 3,968 | 83 | 87 | 84 | 79 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 4,000 | 80 | 90 | 80 | 70 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| 主要産地は群馬、長野。昨年は雨不足の影響があったが、今年は順調な生育で、入荷量も回復する。そのため、価格も落ち着くであろう。 入荷量は多かった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。 | | | | | | | |
| ほう れ ん そ う | 21年 | 274 | 571 | 520 | 572 | 622 | 岐阜 86% |
| | 22年 | 202 | 719 | 636 | 771 | 777 | 茨城 4% |
| | 23年 | 193 | 687 | 684 | 695 | 689 | 長野 3% |
| | 24年 | 226 | 600 | 622 | 576 | 598 | 愛知 2% |
| | 25年 | 204 | 702 | 871 | 646 | 621 | |
| | 5ヵ年平均 | 220 | 649 | 656 | 645 | 657 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 210 | 670 | 720 | 680 | 620 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| 産地の中心は岐阜（飛騨地方）。作況は安定している。ほうれんそうは、雨の影響を受けやすく、入荷量は安定しないが、極端に減少することはないであろう。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。 | | | | | | | |

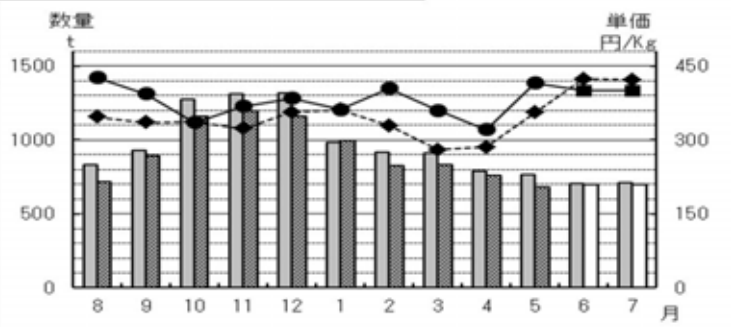
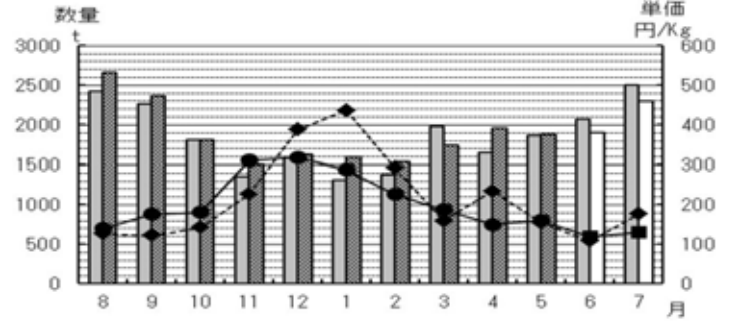
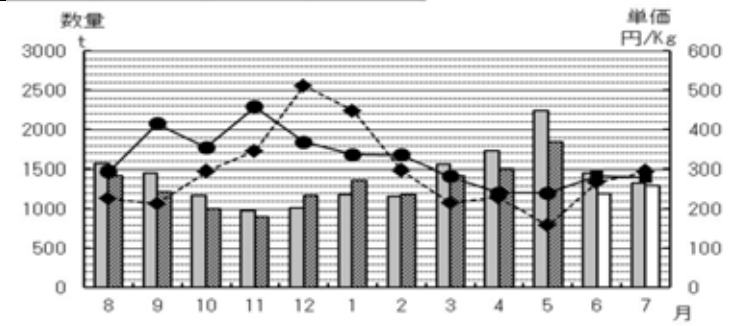
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績 と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--|------------------|--------|--|-----|-----|----------------------|--|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ほうい | 21年 | 5,759 | 53 | 47 | 53 | 59 | 長野 90% 群馬 8% 北海道 2% (愛知産比率 -%) |
| | 22年 | 6,024 | 59 | 49 | 64 | 65 | |
| | 23年 | 6,005 | 58 | 64 | 56 | 56 | |
| | 24年 | 5,669 | 50 | 55 | 45 | 51 | |
| | 25年 | 5,834 | 88 | 76 | 82 | 107 | |
| 5カ年平均 | 5,858 | 62 | 58 | 60 | 68 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き | |
| 26年見通し | 5,800 | 70 | 72 | 70 | 68 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| <p>長野からの入荷が中心となり、群馬からも入荷する。両産地とも5月の干ばつの影響で小玉傾向が心配されたが、その後の降雨で解消し生育状態は順調、病害発生もなく品質も良好である。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| キャベツ | 21年 | 16,628 | 62 | 66 | 61 | 61 | 群馬 65% 岩手 14% 長野 5% 茨城 5% (愛知産比率 0%) |
| | 22年 | 17,760 | 84 | 69 | 91 | 91 | |
| | 23年 | 14,130 | 92 | 106 | 98 | 76 | |
| | 24年 | 15,032 | 51 | 57 | 48 | 49 | |
| | 25年 | 16,344 | 97 | 106 | 86 | 100 | |
| 5カ年平均 | 15,979 | 77 | 81 | 77 | 75 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き | |
| 26年見通し | 16,000 | 80 | 82 | 79 | 79 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| <p>群馬、岩手からの入荷が中心となる。主力の群馬は干ばつと低温で生育遅れが見られたが、その後の降雨と気温上昇で回復傾向。岩手も出だしは少ないが中旬以降潤沢な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| ほうれんそう | 21年 | 1,246 | 498 | 488 | 514 | 497 | 群馬 26% 栃木 22% 茨城 20% 岩手 13% (愛知産比率 0%) |
| | 22年 | 946 | 651 | 547 | 725 | 728 | |
| | 23年 | 910 | 587 | 548 | 565 | 667 | |
| | 24年 | 1,074 | 513 | 492 | 447 | 618 | |
| | 25年 | 923 | 671 | 754 | 609 | 646 | |
| 5カ年平均 | 1,020 | 584 | 566 | 572 | 631 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き | |
| 26年見通し | 930 | 620 | 620 | 630 | 610 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| <p>関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。現状、夜温が低く曇雨天の影響で入荷量は不安定だが、7月には量がまとまってくる見込み。7月下旬には生育遅れ分が重なって入荷集中の恐れがある。 入荷量は、前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p> | | | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地 (%) | |
|--|--------------|-------|--|-----|-----|------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | (愛知産比率) | |
| ねぎ | 21年 | 897 | 384 | 390 | 385 | 379 | 愛知 28% |
| | 22年 | 843 | 433 | 392 | 486 | 434 | 大分 16% |
| | 23年 | 746 | 382 | 374 | 415 | 389 | 鳥取 10% |
| | 24年 | 740 | 384 | 384 | 576 | 598 | 北海道 8% |
| | 25年 | 713 | 422 | 410 | 452 | 424 | |
| ねぎ | 5カ年平均 | 788 | 401 | 390 | 460 | 442 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| ねぎ | 26年見通し | 700 | 400 | 400 | 400 | 400 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| <p>愛知からは長ねぎ、大分、茨城は白ねぎ、北海道は青ねぎとなる。生育は概ね順調で、安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| レタ | 21年 | 2,111 | 108 | 86 | 117 | 118 | 長野 99% |
| | 22年 | 2,108 | 144 | 118 | 123 | 186 | 愛知 0% |
| | 23年 | 2,275 | 106 | 121 | 113 | 109 | 北海道 0% |
| | 24年 | 2,488 | 110 | 113 | 115 | 126 | |
| | 25年 | 2,508 | 177 | 198 | 206 | 153 | |
| レタ | 5カ年平均 | 2,298 | 130 | 129 | 136 | 138 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| レタ | 26年見通し | 2,300 | 130 | 140 | 130 | 120 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| <p>産地は、ほぼ100%長野。産地は高冷地へ移る。生育は順調で、玉の大きさは2L等大玉がメインとなる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| きゅう | 21年 | 1,287 | 235 | 207 | 245 | 255 | 長野 57% |
| | 22年 | 1,540 | 236 | 266 | 263 | 191 | 北海道 16% |
| | 23年 | 1,359 | 296 | 318 | 291 | 283 | 愛知 5% |
| | 24年 | 1,404 | 257 | 275 | 255 | 249 | 岩手 5% |
| | 25年 | 1,335 | 295 | 331 | 290 | 275 | |
| きゅう | 5カ年平均 | 1,385 | 263 | 280 | 269 | 249 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| きゅう | 26年見通し | 1,300 | 280 | 330 | 280 | 230 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | |  | | | | |
| <p>産地の中心は長野。今後は北海道が中心となる。雨不足の影響で、生育が遅れていることもあり、7月上旬の入荷量は少ない見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p> | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績 と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|-----|------------------|---|------|-----|-----|----------------------|---|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ね | 21年 | 4,132 | 338 | 360 | 356 | 306 | 茨城 66% 千葉 13% 中国 6% 埼玉 5% (愛知産比率 0%) |
| | 22年 | 3,902 | 337 | 312 | 403 | 307 | |
| | 23年 | 3,993 | 260 | 259 | 272 | 251 | |
| | 24年 | 4,045 | 274 | 285 | 314 | 228 | |
| | 25年 | 4,003 | 349 | 358 | 377 | 306 | |
| | 5カ年平均 | 4,015 | 312 | 315 | 344 | 280 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 4,100 | 310 | 315 | 310 | 305 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | 茨城からの入荷が中心となる。茨城を中心とした関東産は、5月の干ばつで肥大遅れが懸念されたが、その後の降雨で生育は概ね順調、病害の発生も少なく順調な出荷が期待できる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。 | | | | | |
| レ | 21年 | 9,016 | 104 | 89 | 110 | 111 | 長野 85% 群馬 10% 岩手 3% 北海道 2% (愛知産比率 0%) |
| | 22年 | 8,495 | 145 | 110 | 128 | 189 | |
| | 23年 | 9,501 | 103 | 110 | 102 | 96 | |
| | 24年 | 9,610 | 107 | 100 | 104 | 107 | |
| | 25年 | 9,630 | 186 | 200 | 201 | 157 | |
| | 5カ年平均 | 9,250 | 129 | 122 | 129 | 132 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 9,400 | 130 | 140 | 130 | 120 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | 長野からの入荷が中心となる。長野の生育は概ね順調で、6月上旬の降雨の影響で大玉傾向である。群馬は夜温が低く玉伸びがよくないが、今後の気温上昇で持ち直す見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。 | | | | | |
| き | 21年 | 7,805 | 214 | 193 | 221 | 226 | 福島 39% 岩手 12% 秋田 9% 埼玉 6% (愛知産比率 -%) |
| | 22年 | 8,135 | 204 | 240 | 216 | 171 | |
| | 23年 | 7,832 | 266 | 321 | 233 | 257 | |
| | 24年 | 7,868 | 224 | 230 | 212 | 230 | |
| | 25年 | 7,592 | 279 | 280 | 268 | 289 | |
| | 5カ年平均 | 7,846 | 237 | 253 | 230 | 235 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 7,600 | 260 | 300 | 240 | 240 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | 福島、岩手、秋田、埼玉からの入荷が中心になる。現状、福島は雨よけ、無加温がピークを迎えているが、低温で入荷量は微増。東北では干ばつによる遅れがあったが回復傾向。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。 | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地 (%) (愛知産比率) | |
|--|--------------|-------|------|-----|-----|-----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| な | 21年 | 1,035 | 230 | 197 | 249 | 252 | 愛知 33% |
| | 22年 | 1,025 | 306 | 305 | 336 | 289 | 徳島 16% |
| | 23年 | 1,081 | 315 | 327 | 309 | 319 | 山梨 12% |
| | 24年 | 1,004 | 300 | 294 | 316 | 300 | 宮崎 9% |
| | 25年 | 969 | 276 | 333 | 275 | 238 | |
| す | 5ヵ年平均 | 1,023 | 286 | 291 | 297 | 280 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 1,000 | 300 | 300 | 300 | 280 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>愛知の長なす、山梨の千両なすが入荷する。昨年に比べ全体的に生育は順調で、荷量も回復するであろう。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | | | |
| ト マ ト | 21年 | 1,486 | 276 | 245 | 283 | 296 | 岐阜 32% |
| | 22年 | 1,518 | 285 | 248 | 265 | 335 | 愛知 22% |
| | 23年 | 1,342 | 348 | 327 | 359 | 360 | 北海道 18% |
| | 24年 | 1,402 | 318 | 325 | 320 | 317 | 三重 9% |
| | 25年 | 1,247 | 363 | 376 | 375 | 344 | |
| ト | 5ヵ年平均 | 1,399 | 316 | 301 | 317 | 330 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 1,300 | 340 | 350 | 350 | 330 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>主力産地は岐阜、愛知、北海道。生育は順調で、形も良い。安定した入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| し い た け | 21年 | 300 | 520 | 484 | 503 | 567 | 北海道 50% |
| | 22年 | 334 | 544 | 495 | 553 | 581 | 愛知 25% |
| | 23年 | 292 | 715 | 78 | 756 | 745 | 茨城 11% |
| | 24年 | 349 | 622 | 618 | 614 | 635 | 長野 5% |
| | 25年 | 346 | 670 | 673 | 787 | 558 | |
| ト | 5ヵ年平均 | 324 | 614 | 482 | 643 | 615 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 330 | 620 | 650 | 620 | 600 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>主力産地は切り替わり、今後は北海道が中心となる。7月上中旬は平年より少ない出荷となるが、下旬には回復して順調な出荷に向かうと思われる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p> | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績 と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|---|------------------|-------|------|-----|-----|---|---|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| な す | 21年 | 4,958 | 266 | 288 | 240 | 群馬 29% 茨城 26% 栃木 25% 埼玉 6% (愛知産比率 0%) | |
| | 22年 | 4,866 | 297 | 335 | 250 | | |
| | 23年 | 4,716 | 312 | 362 | 299 | | |
| | 24年 | 4,346 | 339 | 351 | 317 | | |
| | 25年 | 4,390 | 333 | 409 | 302 | | |
| 5カ年平均 | 4,655 | 309 | 349 | 309 | 282 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き | |
| 26年見通し | 4,100 | 340 | 380 | 340 | 300 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>関東産地が入荷の中心となる。群馬は雪害の影響で出荷量は少ない見込み。各産地5月の干ばつで生育遅れがみられたが、その後の降雨で回復傾向、着果も良好である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p> | | | | | | | |
| ト マ ト | 21年 | 8,234 | 285 | 254 | 289 | 307 | 青森 16% 北海道 13% 栃木 11% 茨城 9% (愛知産比率 5%) |
| | 22年 | 8,292 | 282 | 245 | 268 | 328 | |
| | 23年 | 8,002 | 340 | 331 | 320 | 371 | |
| | 24年 | 8,874 | 301 | 307 | 295 | 301 | |
| | 25年 | 8,167 | 353 | 369 | 343 | 353 | |
| 5カ年平均 | 8,314 | 312 | 301 | 303 | 332 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き | |
| 26年見通し | 8,400 | 310 | 320 | 310 | 300 | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>青森、北海道の入荷が本格化してくる。東北各産地は天候に恵まれ、生育はおおむね順調。北海道は積極的な入荷が予想されている。関東産は高温乾燥で日焼け果がみられるが、生育は順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p> | | | | | | | |
| ミ ニ ト マ ト | 21年 | 1,166 | 492 | 462 | 473 | 536 | 茨城 31% 福島 14% 愛知 10% 北海道 8% (愛知産比率 10%) |
| | 22年 | 1,176 | 511 | 461 | 483 | 582 | |
| | 23年 | 1,040 | 695 | 720 | 689 | 674 | |
| | 24年 | 1,434 | 561 | 566 | 591 | 533 | |
| | 25年 | 1,606 | 587 | 566 | 683 | 511 | |
| 5カ年平均 | 1,284 | 569 | 555 | 584 | 567 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き | |
| 26年見通し | 1,700 | 560 | | | | | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| <p>茨城、福島、北海道からの入荷が増えてくる。茨城は作付面積が増加し、7月中旬頃にピークを迎える見込み。北海道は生育順調。本県産は平年並の出荷となるが減少しながら展開となる。 入荷量は多かった前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p> | | | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地 (%) | |
|-------|--------------|---|------|-----|-----|------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | (愛知産比率) | |
| ピーマン | 21年 | 507 | 299 | 301 | 286 | 310 | 茨城 40% |
| | 22年 | 504 | 341 | 263 | 414 | 371 | 岩手 23% |
| | 23年 | 426 | 450 | 466 | 442 | 483 | 北海道 20% |
| | 24年 | 480 | 303 | 282 | 355 | 324 | |
| | 25年 | 398 | 435 | 441 | 516 | 411 | |
| マン | 5カ年平均 | 463 | 360 | 343 | 396 | 375 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 400 | 416 | 450 | 400 | 400 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | <p>主要産地は茨城。次いで東北、北海道が続く。梅雨の影響がどこまで続くかで今後の入荷量にも影響が出てくる。7月前半は入荷量が少ないが、後半は増える見込み。入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p> | | | | | |
| ばれいしょ | 21年 | 1,439 | 191 | 170 | 204 | 199 | 北海道 38% |
| | 22年 | 1,556 | 185 | 201 | 204 | 154 | 静岡 26% |
| | 23年 | 1,662 | 101 | 118 | 90 | 97 | 長崎 13% |
| | 24年 | 1,566 | 89 | 86 | 103 | 86 | |
| | 25年 | 1,536 | 126 | 85 | 166 | 132 | |
| いしょ | 5カ年平均 | 1,552 | 137 | 131 | 152 | 132 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 1,500 | 125 | 120 | 140 | 120 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | <p>主要産地は北海道、静岡、長崎。静岡ものはすでに入荷されており、長崎は7月中旬で終了し、北海道は7月下旬からの入荷となる。今後の雨の降り方で入荷量も変わってくると予想され、安定しない。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p> | | | | | |
| たまねぎ | 21年 | 4,193 | 97 | 98 | 110 | 90 | 兵庫 68% |
| | 22年 | 4,004 | 92 | 96 | 86 | 94 | 愛知 17% |
| | 23年 | 3,412 | 64 | 63 | 64 | 67 | 佐賀 6% |
| | 24年 | 3,245 | 129 | 131 | 127 | 130 | 北海道 5% |
| | 25年 | 3,688 | 82 | 81 | 82 | 85 | |
| ねぎ | 5カ年平均 | 3,708 | 92 | 94 | 94 | 93 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 3,800 | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| | | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | |
| | | <p>主要産地は兵庫(淡路島)。次いで愛知。愛知は、7月上旬には終了し、中旬以降は兵庫が中心となる。天候不順で生育も良くなく、小玉傾向となる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p> | | | | | |

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|-----|---|-------|------|-----|-----|----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| ピ | 21年 | 2,104 | 266 | 278 | 236 | 281 | 茨城 65% |
| | 22年 | 2,056 | 320 | 233 | 398 | 349 | 岩手 19% |
| | 23年 | 1,781 | 409 | 441 | 362 | 422 | 福島 8% |
| | 24年 | 2,018 | 248 | 220 | 273 | 254 | 青森 3% |
| | 25年 | 1,911 | 417 | 433 | 474 | 331 | (愛知産比率 - %) |
| | 5ヵ年平均 | 1,974 | 332 | 321 | 349 | 327 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| マ | 26年見通し | 1,950 | 320 | 380 | 340 | 300 | |
| ン | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | |
| | 茨城を中心に岩手、福島などから入荷する。茨城は順調な生育で促成、半促成ともに6月がピークとなり、中旬以降は次第に減少する。岩手は生育順調で露地ものが入荷する。中旬がピークとなる。入荷量はわずかに前年を上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。 | | | | | | |
| ば | 21年 | 4,976 | 184 | 167 | 189 | 197 | 茨城 32% |
| | 22年 | 5,858 | 174 | 183 | 185 | 156 | 千葉 20% |
| | 23年 | 5,741 | 102 | 119 | 97 | 90 | 静岡 19% |
| | 24年 | 5,473 | 88 | 92 | 90 | 81 | 長崎 14% |
| | 25年 | 5,528 | 147 | 129 | 147 | 171 | (愛知産比率 0%) |
| | 5ヵ年平均 | 5,515 | 139 | 138 | 142 | 139 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| れ | 26年見通し | 5,500 | 125 | 125 | 125 | 125 | |
| い | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | |
| | 茨城、千葉、静岡、長崎などから入荷する。茨城、千葉は玉伸びもよく大玉傾向。静岡は男爵、メイクインが出るが、生育も安定し順調な入荷が見込まれる。長崎は出荷が前進している。入荷量は前年並みだが、価格は販売が苦戦しており、前年をかなり下回る見込み。 | | | | | | |
| た | 21年 | 8,903 | 113 | 104 | 114 | 121 | 佐賀 45% |
| | 22年 | 9,253 | 108 | 104 | 103 | 114 | 兵庫 26% |
| | 23年 | 8,728 | 68 | 71 | 66 | 68 | 香川 7% |
| | 24年 | 8,312 | 142 | 145 | 139 | 143 | 群馬 5% |
| | 25年 | 9,915 | 89 | 86 | 89 | 91 | (愛知産比率 3%) |
| | 5ヵ年平均 | 9,022 | 104 | 102 | 102 | 107 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| ま | 26年見通し | 9,000 | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| ね | 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | |
| | 佐賀、兵庫を中心に入荷する。佐賀は、前年の豊作安値の影響で作付けが減少したが、これで平年並み。5月に雨が少なくやや小ぶりのM玉中心。兵庫は貯蔵の出荷となり、病虫害等も少なかったため昨年より多い出荷を見込む。入荷量は豊作の前年をかなり下回り、価格も入荷量減のため前年をかなり上回る見込み。 | | | | | | |
| ぎ | | | | | | | |

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

| 品目名 | 区分 実績 と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地 (%) (愛知産比率) | |
|--|------------------|--------|------|-----|-----|-----------------------|----------------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 果 実 計 | 21年 | 12,035 | 347 | 350 | 360 | 334 | フィリピン 20% |
| | 22年 | 11,675 | 326 | 331 | 328 | 321 | 愛知 17% |
| | 23年 | 11,793 | 336 | 349 | 335 | 328 | 山梨 7% |
| | 24年 | 10,410 | 364 | 380 | 371 | 348 | 石川 7% |
| | 25年 | 11,166 | 319 | 342 | 318 | 306 | |
| | 5ヵ年平均 | 11,416 | 338 | - | - | - | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 11,000 | 310 | - | - | - | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 産地は輸入、愛知、山梨中心。国内物は燃料費の高さや、生産者、作付面積の減少などにより、平年を上回る入荷は見込めない状況。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。 | | | | | | | |
| ア ー ロ ン | 21年 | 306 | 553 | 604 | 541 | 510 | 愛知 47% |
| | 22年 | 308 | 582 | 651 | 601 | 501 | 静岡 38% |
| | 23年 | 252 | 677 | 695 | 662 | 674 | 高知 10% |
| | 24年 | 250 | 568 | 578 | 580 | 558 | |
| | 25年 | 256 | 584 | 602 | 591 | 581 | |
| | 5ヵ年平均 | 274 | 591 | 626 | 593 | 560 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 250 | 580 | 650 | 580 | 550 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 主要産地は愛知、静岡。作付面積の減少で今後入荷量は減少していくことが予想される。それに伴い価格は今後高くなるおそれがある。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。 | | | | | | | |
| す い か | 21年 | 2,823 | 137 | 133 | 132 | 142 | 石川 24% |
| | 22年 | 3,079 | 157 | 167 | 149 | 162 | 愛知 22% |
| | 23年 | 2,548 | 196 | 209 | 212 | 182 | 新潟 16% |
| | 24年 | 3,215 | 132 | 148 | 130 | 133 | 長野 15% |
| | 25年 | 3,483 | 154 | 166 | 150 | 159 | |
| | 5ヵ年平均 | 3,030 | 154 | 163 | 153 | 155 | 前年及び本年の 入荷量・価格の動き |
| | 26年見通し | 3,300 | 160 | 180 | 160 | 150 | |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | | | | | | |
| 主要産地は愛知、石川、長野。7月は石川産が増加してくると、一気に山場を迎え、入荷量のピークとなる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。 | | | | | | | |

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

| 品目名 | 区分 実績と見通し | 入荷量 | 卸売価格 | | | 前年主要産地(%) (愛知産比率) | |
|--------------------------|--------------|--|------|-----|-----|----------------------|------------|
| | | | 上旬 | 中旬 | 下旬 | | |
| 果 実 計 | 21年 | 43,979 | 323 | 331 | 332 | 309 | 山梨 15% |
| | 22年 | 43,187 | 338 | 356 | 352 | 314 | 山形 14% |
| | 23年 | 37,118 | 380 | 400 | 400 | 345 | 千葉 12% |
| | 24年 | 38,687 | 339 | 367 | 338 | 316 | フィリピン 9% |
| | 25年 | 39,489 | 362 | 398 | 351 | 340 | (愛知産比率 1%) |
| | 5ヵ年平均 | 40,492 | 348 | - | - | - | 前年及び本年の |
| | 26年見通し | 39,500 | 360 | - | - | - | 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>すいか類、もも、メロン類中心に入荷する。ももは山梨中心で、受粉期の天候もよく順調な入荷を見込む。ぶどうは山梨中心に2月の大雪の影響を受け、大幅に入荷が減る見込み。メロンは青肉の千葉産タカミ、山形産アンデスが中心、いずれも生育良好。他にハウスみかん、おうとう等が入荷する。入荷量、価格ともに前年並見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| ア ー メ ロ ン | 21年 | 750 | 590 | 639 | 576 | 538 | 静岡 48% |
| | 22年 | 746 | 603 | 690 | 603 | 492 | 千葉 15% |
| | 23年 | 606 | 741 | 749 | 770 | 680 | 茨城 12% |
| | 24年 | 685 | 596 | 626 | 641 | 511 | 熊本 10% |
| | 25年 | 714 | 668 | 750 | 683 | 535 | (愛知産比率 4%) |
| | 5ヵ年平均 | 700 | 640 | 691 | 655 | 551 | 前年及び本年の |
| | 26年見通し | 700 | 720 | 820 | 680 | 550 | 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>静岡、千葉、茨城などからの入荷となる。6割を占める静岡は、生育良好で、上中旬がピークで6玉中心の出荷。千葉は肥大・外観も良好で中旬までの入荷。茨城は7月は少なめだが、順調な出荷となる。入荷量は前年並みだが、価格はメロン全体が好調で前年をかなり上回る見込み。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |
| す い か | 21年 | 14,653 | 153 | 145 | 156 | 157 | 千葉 23% |
| | 22年 | 15,467 | 173 | 176 | 166 | 174 | 山形 19% |
| | 23年 | 12,092 | 217 | 215 | 250 | 188 | 新潟 16% |
| | 24年 | 13,933 | 147 | 154 | 146 | 142 | 神奈川 12% |
| | 25年 | 14,661 | 170 | 180 | 172 | 159 | (愛知産比率 0%) |
| | 5ヵ年平均 | 14,161 | 172 | 174 | 178 | 164 | 前年及び本年の |
| | 26年見通し | 14,500 | 165 | 175 | 170 | 160 | 入荷量・価格の動き |
| 産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し | | <p>千葉、鳥取、長野、新潟に加え後半山形からの入荷が本格化する。千葉は、生育がやや進み7月中旬までの出荷。鳥取も同じ傾向。新潟、長野は生育順調で7月中旬からピークとなる。山形は融雪も早く順調に生育し7月後半からピークとなる。入荷量、価格ともに前年並みと見込まれる。</p> | | | | | |
| | | | | | | | |

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月26日現在）

単位：千本、円/本

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|-----------------------------|---|-----|-------|------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| 輪 ぎ | 実 績 | 21年 | 2,982 | 34 | |
| | | 22年 | 1,882 | 66 | |
| | | 23年 | 2,024 | 53 | |
| | | 24年 | 2,295 | 30 | |
| | | 25年 | 2,203 | 46 | |
| | 5ヶ年平均 | | 2,277 | 44 | |
| | 26年見通し | | 2,200 | 44 | |
| 概要 | 愛知、三重、長野等から入荷。遅れていた長野産の入荷も始まるが、2月の雪害や春先の低温で作付は例年より少ないため多くはないため、色物については堅調な動きとろう。 | | | | |
| 小 ぎ | 実 績 | 21年 | 2,924 | 20 | |
| | | 22年 | 1,758 | 40 | |
| | | 23年 | 1,843 | 32 | |
| | | 24年 | 2,095 | 21 | |
| | | 25年 | 2,542 | 23 | |
| | 5ヶ年平均 | | 2,232 | 26 | |
| | 26年見通し | | 2,500 | 23 | |
| 概要 | 愛知、三重、長野、埼玉、岩手から入荷。遅れていた地場産に加え、高冷地産も出荷が始まり、入荷量も増加する。今後の天候にもよるが、8月出しの前進傾向もあり、入荷状況により重い展開が予想される。 | | | | |
| カー ネ ー シ ョ ン | 実 績 | 21年 | 1,106 | 37 | |
| | | 22年 | 1,183 | 39 | |
| | | 23年 | 1,260 | 31 | |
| | | 24年 | 1,079 | 39 | |
| | | 25年 | 1,210 | 45 | |
| | 5ヶ年平均 | | 1,168 | 38 | |
| | 26年見通し | | 1,100 | 46 | |
| 概要 | 長野、北海道から入荷。今年は春先から6月までの低温などにより、若干遅れている。また、2月の豪雪により長野県全域で大きな雪害が発生したため、空き出しはなんとか一発切りなどで数の確保できそうだが、7月は2割位減少になる見込み。 | | | | |
| か す み | 実 績 | 21年 | 184 | 52 | |
| | | 22年 | 104 | 69 | |
| | | 23年 | 111 | 70 | |
| | | 24年 | 114 | 66 | |
| | | 25年 | 148 | 83 | |
| | 5ヶ年平均 | | 132 | 67 | |
| | 26年見通し | | 140 | 80 | |
| 概要 | 長野、北海道、福島から入荷。遅れ気味の入荷で、前半は少なそう。業務中心の販売で価格安定。 | | | | |

単位：千本、円/本

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|-----|--|-----|-------|------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| ゆり | 実績 | 21年 | 462 | 124 | |
| | | 22年 | 425 | 143 | |
| | | 23年 | 468 | 125 | |
| | | 24年 | 440 | 134 | |
| | | 25年 | 519 | 125 | |
| | 5ヶ年平均 | | 463 | 130 | |
| | 26年見通し | | 500 | 125 | |
| 概要 | <p>オリエンタルは新潟、岐阜中心の入荷。カサブランカ中心で数量安定。LAは新潟、埼玉から入荷。前半は数量多く、販売は苦しい。鉄砲は高知、終了、愛媛、兵庫、長野からの入荷となる。入荷は少なく、引合いは強そう。</p> | | | | |
| 洋らん | 実績 | 21年 | 372 | 77 | |
| | | 22年 | 354 | 86 | |
| | | 23年 | 375 | 85 | |
| | | 24年 | 376 | 84 | |
| | | 25年 | 423 | 94 | |
| | 5ヶ年平均 | | 380 | 85 | |
| | 26年見通し | | 400 | 90 | |
| 概要 | <p>愛知、静岡、鹿児島等と輸入物が入荷。6月は気温の高い日もあったが、全体には猛暑日も多くなかったが、7月には夏本番の暑さとなる。品質の差も大きくなり、価格差も大きくなるだろう。</p> | | | | |
| ばら | 実績 | 21年 | 1,024 | 44 | |
| | | 22年 | 858 | 46 | |
| | | 23年 | 810 | 44 | |
| | | 24年 | 863 | 46 | |
| | | 25年 | 856 | 55 | |
| | 5ヶ年平均 | | 882 | 47 | |
| | 26年見通し | | 850 | 50 | |
| 概要 | <p>愛知、岐阜、和歌山、愛媛、青森からの入荷中心で、三重は株休めの為出荷がなくなる。暖地は夜冷、パッド&ファン等で暑さ対応をしてくる時期となる。入荷はスプレー、スタンダード合わせて、6万本前後を推移すると思われる。</p> | | | | |
| 枝も | 実績 | 21年 | 1,308 | 43 | |
| | | 22年 | 1,751 | 40 | |
| | | 23年 | 1,733 | 43 | |
| | | 24年 | 1,898 | 39 | |
| | | 25年 | 1,961 | 44 | |
| | 5ヶ年平均 | | 1,730 | 42 | |
| | 26年見通し | | 1,900 | 42 | |
| 概要 | <p>愛知、静岡、岐阜等から入荷。新芽も固まり、出荷量は増加するが、新盆の影響により価格は低調だろう。人気によるトウダンは安定した価格で推移すると思われる。</p> | | | | |

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|--------------------------------------|--|-----|--------|-------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| ア ン ス リ ウ ム | 実 績 | 21年 | 29,520 | 1,032 | |
| | | 22年 | 32,570 | 1,011 | |
| | | 23年 | 24,971 | 1,034 | |
| | | 24年 | 29,574 | 1,036 | |
| | | 25年 | 30,943 | 975 | |
| | 5ヶ年平均 | | 29,516 | 1,017 | |
| | 26年見通し | | 30,000 | 1,000 | |
| 概要 | <p>入荷量は昨年並。6号がメインとなる。7・8・10号は引き合いありそう。また、6号での単価は厳しそう。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(98.0%)、2位静岡県(1.3%)、3位三重県(0.5%)となっている</p> | | | | |
| フ ア レ ノ ブ シ | 実 績 | 21年 | 28,689 | 2,968 | |
| | | 23年 | 30,131 | 2,819 | |
| | | 24年 | 22,862 | 3,326 | |
| | | 24年 | 27,350 | 3,315 | |
| | | 25年 | 29,433 | 3,364 | |
| | 5ヶ年平均 | | 27,693 | 3,147 | |
| | 26年見通し | | 29,000 | 3,276 | |
| 概要 | <p>入荷量、平均単価は昨年並か。上旬より中元シーズンに入ってくるので、早めの企画提案をお願いしたい。また、気温の上昇で開花が早くなるのでツボミ多目の出荷を心がけて頂くことと、下旬からはお盆需要に入る為、白ミディー系中心に出荷増をお願いしたい。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(58.5%)、2位静岡県(7.8%)、3位宮崎県(4.7%)となっている</p> | | | | |
| バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ | 実 績 | 21年 | 10,026 | 108 | |
| | | 23年 | 11,929 | 97 | |
| | | 24年 | 11,201 | 69 | |
| | | 24年 | 9,341 | 144 | |
| | | 25年 | 15,028 | 121 | |
| | 5ヶ年平均 | | 11,505 | 108 | |
| | 26年見通し | | 14,000 | 114 | |
| 概要 | <p>入荷量は昨年より減少か。梅雨時期～高温時期にかけて、花色が悪くなる為に販売に苦戦が予想される。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜県(68.2%)、2位愛媛県(14.7%)、3位愛知県(9.6%)となっている</p> | | | | |

単位：鉢、円/鉢

| 品目 | 区分 | | 入荷量 | 卸売価格 | 前年及び本年の入荷量・価格の動き |
|-------|--|-----|--------|-------|------------------|
| | 実績等 | | | | |
| オンシジユ | 実績 | 21年 | 1,929 | 1,157 | |
| | | 22年 | 1,756 | 1,238 | |
| | | 23年 | 2,015 | 898 | |
| | | 24年 | 2,096 | 976 | |
| | | 25年 | 2,408 | 647 | |
| | 5ヶ年平均 | | 2,041 | 962 | |
| | 26年見通し | | 2,400 | 625 | |
| 概要 | <p>昨年より作付けが減っている為、入荷減の予想。昨年同様に出荷時は固めをお願いしたい。暑くなってくるので軟腐病などが出やすくなるため、再度出荷時に検品もお願いしたい。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(53.5%)、2位山梨県(15.8%)、3位長崎県(10.8%)となっている</p> | | | | |
| スパフェイ | 実績 | 21年 | 14,688 | 286 | |
| | | 23年 | 14,642 | 256 | |
| | | 24年 | 13,325 | 267 | |
| | | 24年 | 15,940 | 297 | |
| | | 25年 | 14,607 | 274 | |
| | 5ヶ年平均 | | 14,640 | 276 | |
| | 26年見通し | | 14,000 | 271 | |
| 概要 | <p>入荷量は昨年並か。贈答用としての需要は年々少なくなっている。店頭は小鉢を必要としている。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重県(51.6%)、2位愛知県(45.6%)、3位岐阜県(2.5%)となっている</p> | | | | |
| ドラセナ類 | 実績 | 21年 | 36,704 | 544 | |
| | | 23年 | 34,978 | 565 | |
| | | 24年 | 29,975 | 696 | |
| | | 24年 | 34,479 | 751 | |
| | | 25年 | 30,614 | 847 | |
| | 5ヶ年平均 | | 33,350 | 674 | |
| | 26年見通し | | 30,000 | 850 | |
| 概要 | <p>入荷量は昨年並か。ユッカ、マッサン、コンシの定番を中心の入荷で中鉢がメインとなる予想。大鉢定番のマッサン、ユッカは若干減少といったところで、4号、5号は若干増加となっている。</p> <p>昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知県(72.2%)、2位沖縄県(16.9%)、3位鹿児島県(3.2%)となっている</p> | | | | |

主要農林水産物の輸出入実績（2014年）

1 輸入実績

| 品名 | 4月 | | | | | | 4月までの累計 | | | | | |
|---------------|---------|-------|-------------|-------|-------|-------|---------|-----|-------------|-----|-------|-----|
| | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 単価 | 前年比 | 数量 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 単価 | 前年比 |
| | トン | % | 千円 | % | 円/kg | % | トン | % | 千円 | % | 円/kg | % |
| 野菜(生鮮・冷蔵) | 91,015 | 119.5 | 9,038,063 | 104.8 | 99 | 87.7 | 350,093 | 122 | 36,419,072 | 108 | 104 | 89 |
| トマト | 550 | 96.6 | 210,521 | 93.8 | 383 | 97.1 | 2,020 | 99 | 808,405 | 100 | 400 | 101 |
| たまねぎ | 33,677 | 163.7 | 1,765,674 | 113.5 | 52 | 69.3 | 131,397 | 164 | 7,370,082 | 125 | 56 | 76 |
| にんにく | 1,543 | 100.3 | 251,993 | 74.7 | 163 | 74.5 | 5,803 | 103 | 945,847 | 80 | 163 | 78 |
| ねぎ | 4,559 | 107.3 | 507,871 | 104.0 | 111 | 96.9 | 19,075 | 112 | 2,196,576 | 116 | 115 | 104 |
| ブロッコリー | 3,588 | 94.6 | 721,672 | 94.9 | 201 | 100.3 | 11,152 | 94 | 2,138,031 | 97 | 192 | 103 |
| 結球キャベツ | 3,914 | 110.9 | 155,879 | 119.2 | 40 | 107.5 | 22,083 | 155 | 938,761 | 170 | 43 | 109 |
| にんじん・かぶ | 7,204 | 72.4 | 388,704 | 73.0 | 54 | 100.8 | 27,178 | 96 | 1,595,971 | 103 | 59 | 107 |
| ごぼう | 4,244 | 151.7 | 388,296 | 295.4 | 91 | 194.7 | 15,423 | 122 | 1,461,913 | 243 | 95 | 199 |
| えんどう | 63 | 44.7 | 19,853 | 38.9 | 315 | 87.0 | 272 | 31 | 98,648 | 32 | 362 | 104 |
| アスパラガス | 1,064 | 80.7 | 676,073 | 99.1 | 635 | 122.8 | 6,661 | 113 | 3,610,155 | 114 | 542 | 101 |
| まつたけ | - | - | - | - | - | - | - | 0 | - | 0 | - | - |
| しいたけ | 143 | 104.3 | 53,050 | 114.9 | 371 | 110.1 | 1,246 | 73 | 468,690 | 84 | 376 | 116 |
| かぼちゃ | 18,892 | 114.5 | 1,347,192 | 124.6 | 71 | 108.9 | 65,921 | 101 | 4,961,713 | 107 | 75 | 106 |
| 果実(生鮮・乾燥) | 168,011 | 91.5 | 27,999,817 | 108.3 | 167 | 118.3 | 533,438 | 91 | 85,049,717 | 110 | 159 | 121 |
| バナナ | 89,739 | 101.3 | 8,148,668 | 110.3 | 91 | 108.9 | 297,956 | 97 | 25,173,069 | 108 | 84 | 111 |
| パイナップル | 17,288 | 88.7 | 1,290,261 | 109.3 | 75 | 123.2 | 49,251 | 87 | 3,518,135 | 110 | 71 | 126 |
| レモン | 2,920 | 79.2 | 565,784 | 111.1 | 194 | 140.2 | 13,768 | 98 | 2,756,572 | 154 | 200 | 157 |
| オレンジ | 8,198 | 54.2 | 1,318,004 | 79.7 | 161 | 147.2 | 28,179 | 62 | 4,476,818 | 90 | 159 | 146 |
| グレープフルーツ | 10,749 | 65.2 | 1,382,633 | 72.1 | 129 | 110.7 | 42,231 | 81 | 5,449,851 | 91 | 129 | 112 |
| メロン | 4,159 | 108.3 | 427,168 | 103.7 | 103 | 95.7 | 11,988 | 93 | 1,279,780 | 93 | 107 | 101 |
| ぶどう | 3,717 | 93.1 | 845,792 | 100.1 | 228 | 107.5 | 8,072 | 91 | 1,894,039 | 96 | 235 | 105 |
| キウイ | 12,427 | 144.4 | 4,490,055 | 165.3 | 361 | 114.4 | 12,554 | 136 | 4,530,560 | 158 | 361 | 116 |
| いちご | 3 | 69.8 | 3,325 | 77.6 | 1,108 | 111.2 | 11 | 33 | 13,396 | 41 | 1,187 | 127 |
| 切花(生鮮・乾燥) | 3,021 | 107.7 | 2,708,350 | 122.7 | 897 | 113.9 | 14,216 | 93 | 12,212,735 | 103 | 859 | 111 |
| 鳥獣肉類 | 170,431 | 112.9 | 83,710,681 | 115.8 | 491 | 102.6 | 421,941 | 76 | 205,515,185 | 79 | 487 | 105 |
| 牛肉(くず肉含む) | 45,704 | 99.9 | 24,445,626 | 104.6 | 535 | 104.8 | 104,301 | 69 | 55,840,539 | 75 | 535 | 108 |
| 豚肉(くず肉含む) | 72,794 | 117.4 | 38,845,090 | 118.9 | 534 | 101.3 | 195,479 | 81 | 103,735,062 | 82 | 531 | 101 |
| 鶏肉 | 40,873 | 123.3 | 11,378,046 | 124.2 | 278 | 100.7 | 98,291 | 72 | 27,179,703 | 75 | 277 | 105 |
| 水産物(生鮮・冷蔵・冷凍) | 164,017 | 96.4 | 106,652,943 | 110.1 | 650 | 114.2 | 359,265 | 64 | 245,308,265 | 78 | 683 | 122 |
| まぐろ類 | 17,074 | 92.9 | 14,646,000 | 90.9 | 858 | 97.8 | 52,166 | 72 | 52,309,013 | 84 | 1,003 | 116 |
| さば・さんま・あじ・いわし | 5,730 | 143.5 | 1,323,511 | 169.7 | 231 | 118.3 | 25,920 | 89 | 5,773,142 | 113 | 223 | 126 |

2 輸出実績

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-----|-----------|-----|-------|-----|
| 果実(生鮮・乾燥) | 439 | 147.0 | 198,638 | 146.4 | 452 | 99.6 | 7,745 | 104 | 3,218,616 | 119 | 416 | 114 |
| うんしゅうみかん | 7 | 134.0 | 5,266 | 148.9 | 752 | 111.1 | 242 | 176 | 135,277 | 199 | 559 | 113 |
| りんご | 408 | 148.5 | 152,679 | 153.9 | 374 | 103.7 | 7,238 | 103 | 2,709,701 | 115 | 374 | 112 |
| なし | - | - | - | - | - | - | 8 | 46 | 4,365 | 48 | 529 | 104 |
| 野菜(生鮮・冷蔵・乾燥) | - | - | 274,830 | 125.0 | - | - | - | - | 684,318 | 111 | - | - |
| 緑茶 | 298 | 123.6 | 675,943 | 131.0 | 2,268 | 106.0 | 743 | 127 | 1,685,915 | 122 | 2,270 | 96 |

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

| 項目 年月 | | 消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) | | | | |
|----------|-------------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 総合 | 生鮮野菜 | 生鮮果物 | 肉類 | 魚介類 |
| 全 国 | 24年平均 | 99.7 | 96.1 | 103.3 | 99.0 | 101.4 |
| | 25年12月 | 100.9 | 105.4 | 104.9 | 101.3 | 106.7 |
| | 26年 1月 | 100.7 | 105.8 | 114.2 | 102.1 | 107.0 |
| | 2月 | 100.7 | 100.5 | 113.1 | 102.0 | 108.1 |
| | 3月 | 101.0 | 98.2 | 110.6 | 103.0 | 108.5 |
| | 4月 | 103.4 | 98.5 | 109.4 | 105.9 | 111.4 |
| | 愛 知 県 | 24年平均 | 99.7 | 98.0 | 105.3 | 99.1 |
| 25年12月 | 100.8 | 109.8 | 109.3 | 99.9 | 106.0 | |
| 26年 1月 | 100.4 | 108.4 | 120.9 | 101.2 | 106.9 | |
| 2月 | 100.5 | 103.7 | 116.6 | 100.8 | 108.5 | |
| 3月 | 100.8 | 100.3 | 114.9 | 102.9 | 108.2 | |
| 4月 | 102.9 | 102.3 | 117.2 | 101.1 | 107.9 | |

| 項目 年月 | | 農業物価指数 (平成22年 = 100) | | | | |
|----------|--------|----------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | 農産物総合 | 米 | 野菜 | 果実 | 畜産物 |
| 全 国 | 24年平均 | 101.8 | 111.1 | 99.0 | 102.8 | 100.9 |
| | 25年12月 | 109.5 | 102.5 | 118.9 | 109.3 | 116.5 |
| | 26年 1月 | 109.0 | 102.7 | 118.4 | 114.7 | 111.1 |
| | 2月 | 107.9 | 102.5 | 112.7 | 101.8 | 111.4 |
| | 3月 | 106.4 | 102.2 | 105.7 | 111.5 | 112.8 |
| | 4月 | 105.8 | 103.6 | 98.5 | 97.0 | 115.4 |

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

| 名 古 屋 市 小 売 価 格 (円) | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------|----------|------|------|------|---------|---------|---------|------|------|---------|---------|---------|
| 品目 単位 年月 | うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外) | キャベツ | はくさい | ねぎ | レタス | ばれいしょ | だいこん | にんじん | たまねぎ | きゅうり | トマト | 生しいたけ | りんご(ふじ) |
| | 5 kg | 1 kg | | | | | | | | | | 100g | 1kg |
| 24年平均 | 2,112 | 147 | 178 | 629 | 457 | 297 | 160 | 350 | 229 | 558 | 665 | 165 | 564 |
| 25年12月 | 2,107 | 217 | 194 | 705 | 655 | 303 | 175 | 413 | 267 | 661 | 765 | 190 | 503 |
| 26年 1月 | 1,999 | 226 | 187 | 630 | 702 | 306 | 158 | 418 | 297 | 630 | 671 | 171 | 517 |
| 2月 | 2,016 | 207 | 167 | 627 | 545 | 306 | 156 | 391 | 305 | 588 | 624 | 172 | 485 |
| 3月 | 1,998 | 201 | 191 | 643 | 598 | 308 | 175 | 404 | 311 | 600 | 625 | 172 | 501 |
| 4月 | 2,047 | 154 | 187 | 562 | 413 | 322 | 161 | 466 | 310 | 503 | 645 | 149 | 523 |
| 品目 単位 年月 | みかん | グレープフルーツ | オレンジ | いちご | バナナ | キウイフルーツ | 緑茶(せん茶) | カーネーション | きく | バラ | 豚肉(ロース) | 牛肉(ロース) | まぐろ |
| | 1 kg | 100g | 1 kg | 100g | 1 kg | 100g | 1 本 | 100g | 1 本 | 100g | 100g | 100g | |
| 24年平均 | 582 | 283 | 352 | 177 | 211 | 805 | 534 | 153 | 168 | 306 | 225 | 797 | 398 |
| 25年12月 | 523 | 382 | 381 | 209 | 221 | 790 | 528 | 162 | 186 | 350 | 224 | 708 | 335 |
| 26年 1月 | 598 | 382 | 409 | 197 | 226 | 812 | 533 | 156 | 167 | 322 | 228 | 838 | 402 |
| 2月 | 601 | 356 | 437 | 117 | 232 | 770 | 533 | 157 | 161 | 326 | 227 | 795 | 399 |
| 3月 | 599 | 362 | 429 | 145 | 228 | 785 | 531 | 161 | 177 | 351 | 228 | 812 | 403 |
| 4月 | 344 | 441 | 152 | 248 | 809 | 537 | 170 | 176 | 351 | 229 | 844 | 405 | |

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 493
平成26年7月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421